

基材改良

# スパンエース® GII

スリット入剥離紙付 片面気密防水テープ

## 縦にも横にものび被着体にフィットする

### 更に柔らかく、のびやすく扱いやすい

アクリル系粘着剤を使用し、高い  
耐久性と施工性に優れた安心性能

ホルムアルデヒド・トルエンなどを  
使用せず環境にも優しい

粘着力が強く粗面・冬期でもよく  
付き重ね貼りも大丈夫



#### 用途

- 各種配管 ● 入隅・出隅 ● 開口・貫通部 ● ベランダてすり ● 窓台

#### 仕様

幅 (mm)	長さ (m)	入数 (巻/箱)	剥離紙
45	5	8	1/3スリット位置
90	5	4	1/2スリット位置

#### 施工例

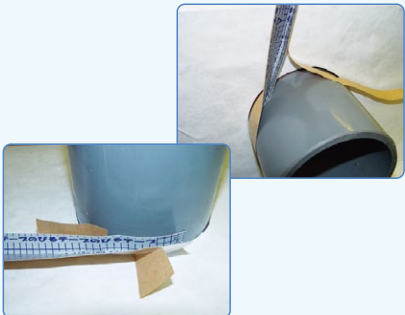


# スパンエース® GII

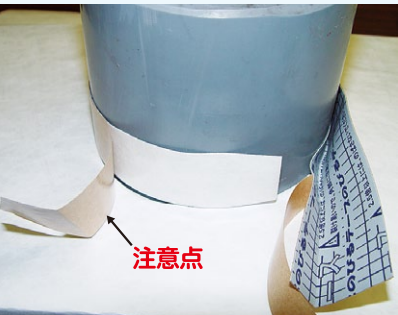
## 配管施工手順 (45mm幅・1/3スリット)

※下記の貼付けの注意事項をご確認の上、施工を行ってください。

(→引張る) (←引き戻し)

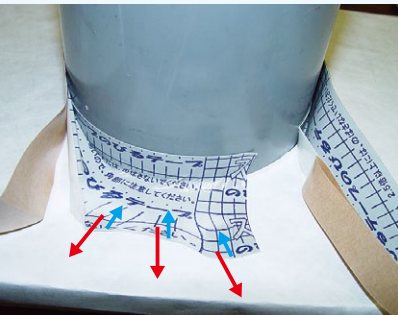


① パイプの下側より、巻付けるように1/3側の剥離紙を剥がしながら少し引張りながら貼る。

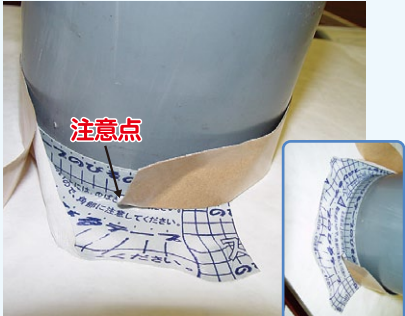


② 2/3側の剥がしておいた剥離紙を少しずつ剥がしながらしっかり壁側に貼っていく。

注意点

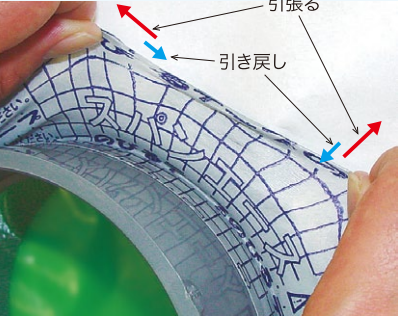


③ △少し多めに引張り、戻してから、引張ったまま貼らずに力を緩めたところで貼る。



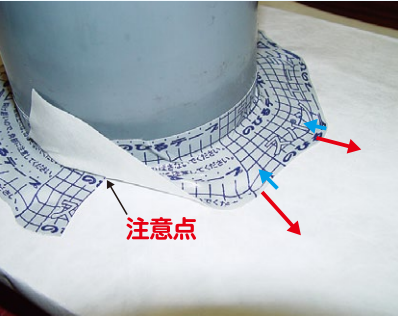
④ 止めたテープ端部1/3側を配管下部で丁寧に重ね巻付け合わせて貼る。

注意点



⑤ ②の引続き周囲壁面へ、縦横に余分に引張り、少し戻して皺に注意して貼っていく。

引張る  
引き戻し



⑥ 2/3側での壁側重ね合わせ部分は、水みち・皺には特に注意して重ね貼りする。


注意点

● 下側重ね合わせ部分

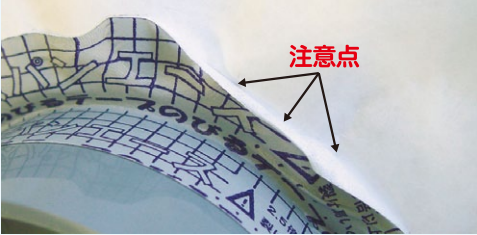


⑦ △貼付け後、再度全体をしっかり十分圧着する。爪などでの圧着は厳禁!

● 施工完了



● めくれ返った例




△引張りと戻し具合が不足し、端部から縮むようにめくれ上がってしまった場合は、気密テープで上から貼り押さえてください。

注意点

### △施工上注意

- 貼付面の形状に合わせて貼付る場合、まず表面のフィルムが変形するまでのばしてください。
- 引張られた部分は粘着剤がずれてテンションを吸収しますので、多少のずれ・粘着剤のはみ出しは問題ありません。
- 元の長さの**2.5倍以上にはのばさない**てください。テープ面の格子は約5mmです。参考にしてください。
- **引張力がかからないように貼付けてください。少し戻してから貼り付けるのが基本です。**
- この状態ではテンションがかかっていますので、テープ表面に皺によるくらいまで戻してから貼付けてください。
- 大きくずれたり、剥がれそうな場合は**端部に本テープ又は気密テープなどで重ね貼り**して押さえてください。
- 破けやすいので角部には注意をし、部分的にのばさないでください。**テープにタッカー・釘は打たないでください。**

△注意 ●製品の用途以外での使用は、本来の機能目的を損なう原因となりますので、ご注意ください。●被着体の汚れ・油分・水分・ほこりなどは十分な除去をしてからご使用ください。●保存は、直射日光を避け高温・高温にならない冷暗所が最適で、開封後は早めにご使用ください。●製品の仕様などは、製品改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

 光洋化学株式会社 <http://www.koyo-kagaku.co.jp>

東京営業所 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2-21-12 グリーンライフビル7F TEL 03-3379-5361 FAX 03-3379-5362  
大阪営業所 〒530-0044 大阪市北区東天満1-6-8 ラシーヌ東天満7F TEL 06-6353-3171 FAX 06-6353-3513